

第2次指宿市望ましい学校づくり基本方針（案）に関する意見等及び当該意見等に対する教育委員会の考え方

No	頁	該当箇所	市民等から提出された意見等（※1）	意見等に対する教育委員会の考え方
1	1	はじめに 「(前略) 指宿市望ましい学校づくり調整会議で協議してきた中で、中学校において、生徒数が少ないことによる部活動の制限や、教科担任による学習指導の充実などの教育環境に対する課題が挙がり、小学校の再編より中学校の再編を望む声が多く出されたところです。」	開聞中学校について、人数と比較して部活動数は多いほうだと感じている。確かに、希望する部活に全員が入れるわけではないが、現在の子どもたちは自分がしたい競技のためにクラブチームやスポーツクラブを選ぶことも多い。鹿児島市内の大規模校であっても、水泳や硬式テニス・硬式野球などクラブチームを選んだり、校区外の学校に部活動のために越境入学したりすることもある。また、今後働き方改革の流れで、外部コーチやクラブチームの活用も進むと考えると「部活動が制限されている」と一概に言えないのではないか。	これまでの住民説明会や指宿市望ましい学校づくり調整会議で協議してきた中で、生徒数が少ないことによる部活動の制限などの課題が挙げられたところです。 意見の趣旨等は、今後の協議において参考にさせていただきます。
2	1	はじめに 「(前略) 指宿市望ましい学校づくり調整会議で協議してきた中で、中学校において、生徒数が少ないことによる部活動の制限や、教科担任による学習指導の充実などの教育環境に対する課題が挙がり、小学校の再編より中学校の再編を望む声が多く出されたところです。」	開聞中学校で専門教科外を担当しているのは、家庭科だけである。家庭科については、北指宿中や南指宿中も教科外の教諭が担当していて条件は一緒である。また、学校応援団の協力で、総合的学習では1～3年まで地域に根差した探求・体験活動を行っていて学習活動については大変充実しているといえる。	これまでの住民説明会や指宿市望ましい学校づくり調整会議で協議してきた中で、教科担任による学習指導の充実などの課題が挙げられたところです。 意見の趣旨等は、今後の協議において参考にさせていただきます。
3	1	はじめに 「(前略) 指宿市望ましい学校づくり調整会議で協議してきた中で、中学校において、生徒数が少ないことによる部活動の制限や、教科担任による学習指導の充実などの教育環境に対する課題が挙がり、小学校の再編より中学校の再編を望む声が多く出されたところです。」	知人、友人のあいだで西指宿中・北指宿中校区、開聞中・山川中校区で中学校の合併を望む声を聞いたことがない。中学生・保護者・地域住民・学校職員など当事者にアンケートを取るなどし、合併を望む声がどれくらいあるのか数字を見たい。	これまでの住民説明会や指宿市望ましい学校づくり調整会議で協議してきた中で、小学校の再編より中学校の再編を望む声が多く出されたところです。 今後、保護者や地域住民へのアンケート等も実施したいと考えておりますので、ご意見として承ります。
4	1	はじめに 「(前略) 令和3年3月には「指宿市学校施設長寿命化計画」を定めました。この計画を効果的に進めるためにも、今後の学校再編の道標も早めに示す必要があります。」	長寿命化計画は現在の学校施設が果たしている地域防災や児童の安全を守る役割を含むものだと捉え、建物の評価が低い順に長寿命化を図るものと捉えておりましたが、統廃合が決まらなければ現在子どもたちが通っている小中学校の環境整備はできないということでしょうか。	「指宿市学校施設長寿命化計画」で設定した優先順位を基に整備しておりますが、今後より効果的に進めるためにも、学校再編の道標を示す必要があると考えております。

5	2	1. 学校の状況 (2) 学校施設の状況	多くの中学校の建築経過年数が40年以上経過して老朽化している中、子ども達の安全面・教育環境などを考えると既存校のみで再編するのではなく、再編に伴い集約する適切な場所が決定したのち、新設校で気持ち新たに学校をスタートすることを方針で入れ込んでほしい。	「1. 学校の状況」については、現況や推計等についての記載であるため、方針については、「2. 基本的な考え方」に記載するべきであると考えます。なお、「2. 基本的な考え方」の「(2) 教育環境の長期的な将来ビジョン」においても、既存校のみでの再編と限定しておりませんので、ご意見として承ります。
6	2	1. 学校の状況 (2) 学校施設の状況	建築後85年を経過する施設の建て替えについて、どの学校も築年数は50年前後で、一番古い校舎が残っている西指宿中が35年後に築85年を迎える。あと10~20年後に合併を考えても遅くないのではないかと感じる。	ご意見として承ります。
7	3	2. 基本的な考え方	中学校の再編をする際、考えなければならないのは、柳田小学校が南指宿中学校と北指宿中学校に分かれることがある。中学校を再編するにあたり指宿地域・山川地域・開聞地域と別々ではなく、指宿市全体で望ましい再編を協議した方がよい。	指宿地域・山川地域・開聞地域と別々で協議するのではなく、「20年・30年後の指宿市の姿を見据え、(中略)望ましい学校教育環境を整えていく」と記載してあります。 意見の趣旨等は、すでに方針(案)に盛り込まれておりますので、ご意見として承ります。
8	3	2. 基本的な考え方 「子供たちのために「何が本当に大切なのか」 (1) 望ましい学校規模 「(前略)「生きる力」を身に付けていくことは、とても重要であると考えます。」	世の中に出て路頭に迷う者が多い。離職率が高すぎる。 進路指導を徹底し、見通しを立てて進ませる。 ◎ 生きる力をつけるには ①心身の健康と体力 ②必要最小限度の社会性と社交性 ③総合的な知力と技能 ・各教科は、実生活に関連づけて教える。 ・義務教育9年間で最低必要な常識を教える。 ・中国では「常識」という教科をつくり教えている。	ご意見として承ります。
9	3	2. 基本的な考え方 (1) 望ましい学校規模 「(前略)望ましい学級数の考え方として、『免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上が望ましい』となっています。」	◎ 免許外教科を撤廃する。 ・免許所持者でも理想的に完全にはできないものである。ましてや無免許で授業に責任がとれる筈はない。授業をする教師が完全に理解していなければ、その説明を聞いた生徒はしっかり理解できないと思われる。実力もつかないことになる。特に入学試験に係る教科においては、その影響を大きく受けることになる。 ・教師の合計担当授業時数をできるだけならす考え方が前面に出て、相談という形で故意に押し付けられていた。そのため主免以外の教科を担当させられた経験者は相当数に昇るものと考えられる。教育委員会は各学校を指導し、1年でも早くこの悪習を改善させ、免許所持者のみによる授業を完全実施させて欲しい。	方針(案)においても、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするために、中学校の学校規模を定め、協議を進めようと考えております。 小規模な中学校においては、生徒にとって良好な学習環境とはいえない状況であると捉え、早期に再編を行い、学習環境の改善を図る必要があると考えておりますので、ご意見として承ります。

10	3	<p>2. 基本的な考え方 (1) 望ましい学校規模 (2) 教育環境の長期的な将来ビジョン</p>	<p>指宿市内の学校で、1学級30人前後のなかの3分の1程度の児童が登校できない学校があります。</p> <p>「30年後には、中学校が2校若しくは1校、小学校は3校若しくは2校に集約」をされるとのことですが、「基本的な考え方」や「望ましい学校規模」と、登校できない児童の学校環境との整合性はどのようになるのでしょうか。</p> <p>その他にも学校が各地域で担っている意義があります。規模からの視点のみではなく、指宿市学校施設長寿命化計画の要点やその他の様々な視点、学校が担っていた意義の再編後の補完を含め、具体的に学校再編の理由を示したほうが理解を得られやすいのではないのでしょうか。</p> <p>また、生徒の人数や学級規模の減少のみが羅列されています。指宿市はこれからの発展的な政策もなく、住居地域の予測人口の減少のみで教育環境の長期的なビジョンを計画されているように受け止められます。「30年後には、中学校が2校若しくは1校、小学校は3校若しくは2校に集約」とありますが、指宿市の30年後は、丹波小・柳田小学校区以外の学校はなくなるということでしょうか。これだけ児童生徒数が減るという事は、指宿市全体の衰退を感じてしまいます。これから子どもを産み育てようとする若い方々は、この方針を見て指宿市に住み続けようと思うのでしょうか。将来の希望も何も見えません。重要な方針だからこそ不安になります。未来を見据えた希望が感じられる具体的な基本方針の示し方はできないのでしょうか。</p>	<p>不登校(心理的、情緒的、身体的その他の要因により在籍している学校に登校しない、又は登校したくてもできない)の問題は、学校規模に関わらず発生するものであり、教育委員会では、不登校児童生徒を対象に、自立を促し、集団生活への適応力の向上を図り、在籍する学校への復帰を目指した指導及び支援を行う施設として、適応指導教室(「なのはな教室」)を設置し、対応しております。</p> <p>意見の趣旨等は、今後の説明会や協議において参考にさせていただきます。</p> <p>児童生徒数の推移は、「第二期指宿市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、様々な政策が実施された前提での推計となっております。</p>									
11	3	<p>2. 基本的な考え方 (1) 望ましい学校規模</p> <table border="1" data-bbox="448 1388 1020 1503"> <tr> <th colspan="3">指宿市の望ましい学校規模</th> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>9～18学級</td> <td>各学年3～6学級</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>12～18学級</td> <td>各学年2～3学級</td> </tr> </table>	指宿市の望ましい学校規模			中学校	9～18学級	各学年3～6学級	小学校	12～18学級	各学年2～3学級	<p>1学年複数の学級があるとどうしても他の学級が気になり過度の競争心が出たり、逆に何かとやり方を全学級統一したりしなければならなかったり、小回りがきかなかつたりするデメリットがあります。一方、1学年1クラスなら、担任の個性や力量を活かしやすく、小回りがきくというメリットがあります。</p> <p>つまり、私の経験上、1学年1学級全校100名程度が一番やりやすくベストでした。小学校は6学級では望ましくないという意味がわかりません。文科省の標準は、地域の実態を考えていない机上の数字だと思います。</p>	<p>学校教育において、児童生徒が集団の中で、様々な考え方に触れ、互いに協力し合い、そして切磋琢磨しながら「生きる力」を身に付けていくことは、とても重要であると考えます。そのためには、ある程度の学校規模や学級集団を確保することが必要であると考えておりますので、ご意見として承ります。</p>
指宿市の望ましい学校規模													
中学校	9～18学級	各学年3～6学級											
小学校	12～18学級	各学年2～3学級											

12	3	<p>2. 基本的な考え方 (2) 教育環境の長期的な将来ビジョン</p> <p>「教育委員会が推計した児童生徒数の将来予測値で学級数を試算したところ、30年後の令和33年には、中学校が18学級（各学年6学級）、小学校が36学級（各学年6学級）となり、その後も児童生徒数の減少に伴い、学級数も減少していく見込みです。」</p>	<p>5ページ（参考図表）では、24学級となっています。どういう計算をされたのでしょうか。</p> <p>また、コロナの関係もあって学級の児童・生徒数を大きく減らそうという議論もあり、30年後は30人以下学級が実現している可能性も大きいです。統廃合ありきで数字が示されているように思えてなりません。</p> <p>まずは、旧山川小・徳光小・利永小の跡地利用が確定してからではないですか。</p>	<p>参考図表の「◎中学校別学級数の推移予測」における合計の学級数は、市内5中学校の学級数の合計であり、「(2)教育環境の長期的な将来ビジョン」の学級数は市内5中学校の生徒数から試算した学級数となっております。</p> <p>文部科学省などにおいて、少人数学級についての調査・研究がなされているようですので、社会状況が変化した場合は、適宜、見直しを行うものとしします。</p> <p>ご意見として承ります。</p>
13	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ① 中学校の適正規模化</p>	<p>中学校の適正規模化・中学校の集約を早く進めて下さい。生徒の為に、子供は宝です。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
14	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み</p>	<p>第一次指宿市望ましい学校づくり基本方針で市民は20年30年後に統廃合が行われるものだと捉えていた方が多く、説明会への参加や理解へ結びつかなかった経緯があります。</p> <p>今回も3ページに「20年・30年後を見据え」とあり、数字として示されています。4ページには「(3)望ましい教育環境への短期的な取組み」とあり数字としては示されていません。読み手にとっては20年・30年後が印象深く残ってしまいます。今回は多くの市民に参加していただくためにも、「短期的な」の解釈を具体的な数字で示したほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>また、1ページの「はじめに」のなか「まずは中学校の再編を推進していきます」とありますが、4ページ「①中学校の適正規模化」「②小学校の適正規模化」が同じ「適正規模化」という文言で同じ「短期的な取組み」の項目にあります。基本方針の中で整合性がとれていないので、表記を変更すべきではないのでしょうか。</p>	<p>再編時期などの具体的な計画につきましては、今後、保護者や地域住民の皆さまと協議しながら決定していきたいと考えており、「短期的な」の解釈を具体的な期間で明記しておりませんので、ご意見として承ります。</p> <p>方針（案）では、教育環境の長期的な将来ビジョンとして、30年後の望ましい学校の在り方を提示し、長期的な将来ビジョンに向けた、望ましい教育環境への短期的な取組みとして中学校の具体的な集約と小学校の適正規模化を継続して検討すること等を考えておりますので、意見の趣旨等は、今後の説明会や協議において参考にさせていただきます。</p>
15	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ① 中学校の適正規模化</p> <p>「早期に再編を行い、学校環境の改善を図る必要があると考えます。」</p>	<p>「早期に再編」とは、いつを目標としているのか。具体的に明記した方が良いと思う。</p>	<p>再編時期につきましては、今後、保護者や地域住民の皆さまと協議しながら決定していきたいと考えておりますので、ご意見として承ります。</p>

16	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ① 中学校の適正規模化 「しかしながら、現時点の生徒数で、長期的な将来ビジョンに掲げる、市内で2校若しくは1校に集約すると過大な規模の学校となるため、」</p>	<p>長期的な将来ビジョンを見据えるなら再編には大規模校の考え方もあるべきことだと思う。しかしながら、現文面だと「なし」と捉えられることから修正をした方がよい。</p>	<p>方針(案)において「指宿市の望ましい学校規模」を定めていることから、これを超える大規模校となるような学校再編は、考えておりませんので、ご意見として承ります。</p>
17	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ① 中学校の適正規模化 「西指宿中学校及び開聞中学校においては、3学年とも単学級であり、<u>部活動や合唱・合奏などの集団活動が制限され、教科担任による学習指導が十分にできていない教科があるなど、生徒にとって良好な学習環境とはいえない状況となっております。</u>」</p>	<p>部活動について 社会の流れとして、これまで知られていなかったスポーツが広く知られるようになったり、ダンスなどの習い事の種類も増えていたりしている。個々の志向を大切にする流れもあり、習い事として、ピアノ、珠算など、スポーツクラブも硬式野球、サッカー、スイミングなどさまざまである。陸上部があっても、さらに陸上クラブチームに通うこともある。集団活動が制限されているとは言えない。</p>	<p>学校教育において、児童生徒が集団の中で、様々な考え方に触れ、互いに協力し合い、そして切磋琢磨しながら「生きる力」を身に付けていくことは、とても重要であると考えます。 学校教育における部活動についても、同様の意義があり、ある程度の学校規模を確保することで選択肢や部員数が増えると考えておりますので、ご意見として承ります。</p>
18	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ① 中学校の適正規模化 「西指宿中学校及び開聞中学校においては、3学年とも単学級であり、<u>部活動や合唱・合奏などの集団活動が制限され、教科担任による学習指導が十分にできていない教科があるなど、生徒にとって良好な学習環境とはいえない状況となっております。</u>」</p>	<p>合唱・合奏について 音楽や美術が週1時間となり、中学校の音楽で現在、合奏を熱心している例は、あまり聞いたことがない。合唱については開聞中では、毎年合唱コンクールでは各学級2曲に挑戦し、昼休み放課後に練習を重ね見事な歌声を披露している。また、2年生が代表として春の祭典にも出場し、昨年、一昨年と金賞を受賞していて、県内でも合唱の盛んな学校であるといえるし、十分に教育的効果も上がっている。</p>	<p>学校教育において、児童生徒が集団の中で、様々な考え方に触れ、互いに協力し合い、そして切磋琢磨しながら「生きる力」を身に付けていくことは、とても重要であると考えます。 合唱・合奏などの集団活動についても、ある程度の学校規模を確保することで選択肢が増えると考えておりますので、ご意見として承ります。</p>

19	4	<p>2. 基本的な考え方</p> <p>(3) 望ましい教育環境への短期的な取組み</p> <p>① 中学校の適正規模化</p>	<p>西指宿中と開聞中は単学級であるため、部活動、合唱、合奏、教科学習が十分にできず、生徒の学習環境が良好でないということが書いてありますが、これはよくありがちな一般論であり、正確な内容とはいえません。</p> <p>①「部活動」のこと…</p> <p>最近の中高生の部活離れは全国的な傾向であり、学校を統合したからといってこの問題が解決するわけではありません。今はダンスやその他スポーツ少年団での活動など、個人の活動を継続する生徒も多いです。国が打ち出しているように今後の部活動は社会体育とつながっていくように進めていくべきだと思いますので学校再編の理由に含めるのは妥当でないと思います。</p> <p>②「合唱・合奏」のこと…</p> <p>合唱・合奏についての記述も疑問を感じます。合唱や合奏の充実が学級数とはほとんど関係ないのですが…。一般論で書かれたのでしょうか。県内の合唱部の人数など調査してみられてもよいかと思ひます。</p> <p>③「教科学習」のこと…</p> <p>恐らく全9教科の教科担任が揃っていないということを仰りたいのかと思ひましたが、残念ながら市内5中とも9教科の教科担任は揃っていません。9教科全部の教科担任は15~16学級ぐらいある学校でないと配置されていないようです。こちらも調べてみてください。それより少ない学級数でも全教科配置できている学校もあるようですが、非常勤講師を入れるなど、その学校、その市町村の様々な努力によるものだと思います。まとめますと、北指宿中と西指宿中、山川中と開聞中を統合しても教科担任の不足は解消されないということです。</p> <p>以上、この段落の内容は学校の内情をご存じない一般市民の方々に、統合すると全てが充実するかなのような誤解を生じさせるものであるため、記述内容の再考をお願いいたします。</p>	<p>学校教育において、児童生徒が集団の中で、様々な考え方に触れ、互いに協力し合い、そして切磋琢磨しながら「生きる力」を身に付けていくことは、とても重要であると考えます。</p> <p>学校教育における部活動についても、同様の意義があり、ある程度の学校規模を確保することで選択肢や部員数が増えると考えておりますので、ご意見として承ります。</p> <p>学校教育において、児童生徒が集団の中で、様々な考え方に触れ、互いに協力し合い、そして切磋琢磨しながら「生きる力」を身に付けていくことは、とても重要であると考えます。</p> <p>合唱・合奏などの集団活動についても、ある程度の学校規模を確保することで選択肢が増えると考えておりますので、ご意見として承ります。</p> <p>市内の中学校における臨時免許状による教科担任及び免外解消非常勤講師による授業実態を基に、小規模校において、教職員数が少ないことによる課題が多いと考えておりますので、ご意見として承ります。</p>
----	---	---	---	--

20	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ① 中学校の適正規模化</p> <p>「西指宿中学校及び開聞中学校においては、3学年とも単学級であり、部活動や合唱・合奏などの集団活動が制限され、<u>教科担任による学習指導が十分にできていない教科があるなど、生徒にとって良好な学習環境とはいえない状況</u>となっております。」</p>	<p>開聞中学校で専門でないのは家庭科だけである。これは、適正規模の学校でも起こりうることで、実際北指宿中・南指宿中でも家庭科は専門外である。</p> <p>開聞校区の学校応援団は地域芸能から地域文化、農業体験活動、地域の探究活動などたくさんの地域の方が関わってくださっている。そのため、1年生では地域芸能の体験活動、2年生では農業体験学習、2～3年ではふるさと探究活動など地域に根差した学習活動を行っている。特に、今年度は開聞岳の1合目に学校があることを生かし、開聞岳登山を行い自分たちが気づいたこと、調べたこと、感動した風景や動植物の写真を生かし、日本語と英語のパンフレットとホームページを作成した。また、指宿市役所や観光協会をはじめホテル等にもパンフレットを配布し、指宿市の観光にも一役かっている。これは、中学生にとって素晴らしい学習環境と言えるのではないだろうか。</p> <p>合併した場合、生徒の自宅から学校までの距離は遠くなる。例えば「朝おなかが痛くてトイレに入って少し遅刻しても自力で登校する」「朝、頭痛がしていたが、休んでいたらよくなったので3校時から登校する」などできていたが、スクールバスを利用するとなると、親が仕事等でいない場合欠席することになる。欠席の生徒の家庭訪問に行く場合も、近ければ授業のない時間が1時間あれば家庭訪問が可能だが、遠くなれば訪問する回数は少なくならざるを得ない。これは、生徒にとって良い環境とは言えないのではないだろうか。</p>	<p>生徒、保護者、教職員及び地域の方々等の協力により、より良い学校づくりに努められている反面、生徒数及び教職員数が少ないことによる課題も多く、総合的に、生徒にとって良好な学習環境とはいえない状況と考えておりますので、ご意見として承ります。</p> <p>ご意見として承ります。</p>
21	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ① 中学校の適正規模化</p>	<p>少しでも市の財政負担を軽くしたいということがあるのかも知れませんが、とりあえず北指宿中と西指宿中、山川中と開聞中という方法は、1学級あたりの生徒数が増えるだけで、教育の質の向上には寄与しません。将来の指宿の学校像を本当に見据えるなら早い段階で長期的ビジョンを決定して、10年後開校を目処に新築校舎の建設準備に入っていただきたいと思います。</p>	<p>学校教育において、児童生徒が集団の中で、様々な考え方に触れ、互いに協力し合い、そして切磋琢磨しながら「生きる力」を身に付けていくことは、とても重要であると考えます。</p> <p>そのためには、ある程度の学校規模や学級集団を確保することが必要であると考えており、教育環境の長期的な将来ビジョンにも、30年後には、中学校は2校若しくは1校に集約することを掲げておりますので、ご意見として承ります。</p>
22	4	<p>2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ① 中学校の適正規模化</p> <p>「西指宿中学校と北指宿中学校を、開聞中学校と山川中学校を、それぞれ既存校1校に集約することを目指していきます。」</p>	<p>短期的な取組みとして、一時的な再編という考え方は、何年後に再再編をすることになり保護者や地域の不安を煽ることになると考える。中学校は、指宿市内で2校として再編も有り得ることは、方針として入れ込んだ方がよい。(選択肢を増やす)</p> <p>西指宿中学校と北指宿中学校、開聞中学校と山川中学校の考えしかないのは、逆に協議がまとまらないと考える。</p>	<p>小規模な中学校においては、生徒にとって良好な学習環境とはいえない状況であると捉え、早期に再編を行い、学習環境の改善を図る方針(案)を作成しました。</p> <p>指宿市内で2校に再編する場合、再編の協議に相当な期間が必要と見込まれますので、意見の趣旨等は、今後の協議において参考にさせていただきます。</p>

23	4	2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ② 小学校の適正規模化	小学校の適正規模化については、川尻小学校保護者の意見等を踏まえ、当分は、協議する必要はないと思います。建設的な意見とは思いません。	20年・30年後の指宿市の姿を見据え、「子供たちにとっての望ましい学校」づくりに努めたいと考えておりますので、ご意見として承ります。
24	4	2. 基本的な考え方 (3) 望ましい教育環境への短期的な取組み ③ 閉校後の学校跡地の活用 「閉校後の学校跡地については、地域の要望等を尊重しながら、 <u>地域の活性化に生かされるような利活用等について協議していきます。</u> 」	若い子育て世代が住みやすいのは、徒歩や自転車で通学できる学校がある場所ではないだろうか。活性化のためには、地域の学校を守っていくほうが良いと思う。	ご意見として承ります。
25	5	参考図表 R13の生徒数	R13の西指宿中・北指宿中の3年生を見ると、北指宿中92名3学級で1学級30名程度、西指宿中も21名で学級の子ども一人一人をよく見ることができよい環境である。これを合わせると、113名3学級で1学級37～38名と1学級の人数は増え、学級数は増えない。1学級の人数が多く、教室も狭く感じるのではないだろうか。 R13の開聞中・山川中の3年生を見ても、山川中43名2学級で1学級21～22名、開聞中35名だが、合わせると78名となり1学級の人数は37名と増えるが、学級数は増えない。やはり、合併することで、学級の環境が良くなるとは言えない。 今後変動があるだろうが、合併を考えるのは西指宿中が1学級一桁になる20年後でもよいと思う。	学校教育において、児童生徒が集団の中で、様々な考え方に触れ、互いに協力し合い、そして切磋琢磨しながら「生きる力」を身に付けていくことは、とても重要であると考えます。 そのためには、ある程度の学校規模や学級集団を確保することが必要であると考えており、教育環境の長期的な将来ビジョンにも、30年後には、中学校は2校若しくは1校に集約することを掲げておりますので、ご意見として承ります。

※1 提出された意見等は、その意見等の趣旨から外れないように要約等してあります。